

## 小児ネフローゼは血行障害の改善で

**Q** 十歳の二男は三年前に小児ネフローゼとの診断を受け入院しました。ステロイド治療で尿たんぱくは陰性になりましたが、今もステロイド剤を服用しています。副作用のため顔がはれ、発育にも影響が出ています。柴苓湯（さいれいとう）という漢方薬を一年間服用しましたが効果がみられません。ほかに適切な漢方薬はあるでしょうか。

**A** 腎臓病のネフローゼにはステロイド剤がよく効くが、薬の減量・中止による再発、強い副作用などが問題になっている。漢方治療の併用は、こうした症状の軽減に有効なことが認められている。

最もよく使われる漢方薬は柴苓湯で、私ども

の研究所でも第一選択剤として一定の効果をあげている。一方で質問者のように柴苓湯では効果が無い場合も少なくない。この場合、患者の症状を総合的に把握して種々の漢方薬を用いる。

まず桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）や当帰芍薬散（とうきしゃくやくさん）など腎臓の血行障害を改善する処方と、八味地黄丸（はちみじおうがん）や六味丸（ろくみがん）といった抗病力を増強し、成長障害にも有用とされる処方を試みる。

かぜをひくことによつて悪化するタイプには補中益気湯（ほちゅうえつきとう）や香蘇散（こうそさん）がよい。十全大補湯（じゅうぜんたいほう）や小建中湯（しょうけんちゅうとう）などで、体質改善を目指すこともある。